

CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 13 No.5 2011年3月15日号

編集:editor@cna.jp 広告:pr@cna.jp 読者登録:<http://cna.jp>

Copyright 2011 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

ACCESS と OKI ACCESS テクノロジーズ、Android 対応のテレビ電話サービスを実現するソフトウェアを発表

株式会社 ACCESS(東京都千代田区)と株式会社 OKI ACCESS テクノロジーズ(東京都千代田区)は、Android OS でテレビ電話サービスを実現するソフトウェア「NetFront VideoTalk」を発表した。(2月14日)

NetFront VideoTalk は、2010年より開始されたLTE(Long Time Evolution)サービスの広がりを見据えて、通信事業者や端末メーカー向けに、ACCESS と OKI ACCESS テクノロジーズが共同開発した。

テレビ電話機能については、2010年5月発表のスマートフォン向けIP電話ソフトウェア「NetFront IP-Phone」をベースに、端末間でのダイレクトなテレビ映像の送受信が可能な機能を付加することにより実現した。

NetFront VideoTalk は、ベースとなる標準ソフトウェアの提供からカスタマイズ実装までトータルでサポートする。開発や実装にかかわるコストを抑え、Android 向けテレビ電話サービスを市場に迅速に投入できるという利点があるという。

NetFront VideoTalk には、IP ネットワーク上でマルチメディアサービスを実現する国際標準仕様 IMS フレームワークのミドルウェア「NetFront IMS Client Package」(2006年発表共同開発製品)と、ACCESS の標準ユーザインターフェイス技術、さらには、OKI ACCESS テクノロジーズが開発したメディアプレイヤー「NetFront Media Player」が採用されている。乱れのない安定した高精細画質の映像を、IP ネットワークを通じて端末間で送受信することを実現させる技術。

映像をIP符号化するメディアエンコーダ・モジュールとIP

化された映像を複合化するメディアプレイヤー・モジュールを独立したモジュールとして持つ。そのためそれぞれを必要に応じて個々に動作させることができる。これによって、双方向のテレビ電話だけでなく、ネットワークカメラやモニターなど映像が片方向に流れるビデオシェアサービスを実現することもできる。

拡張性の高いモジュール構成であるため、テレビ電話サービスの独自仕様や他のサービスとの連携が可能。加えて、アプリケーション部分もAPIとして提供が可能のため、独自のUIをカスタマイズすることもできる。

3GPP、OMA、IETFなどに準拠したインターフェイスを採用し、特定のサービスがバンドルされていないため、業界標準に準拠したさまざまなIP電話サーバーとの相互接続が可能。加えて、要望に応じて、独自仕様サーバーとの接続もカスタマイズ対応ができるという。

NetFront VideoTalk の販売については、ACCESS のグローバルな販売網を通して行われる。OKI ACCESS テクノロジーズは、ACCESS と沖電気工業により設立されたジョイントベンチャー。

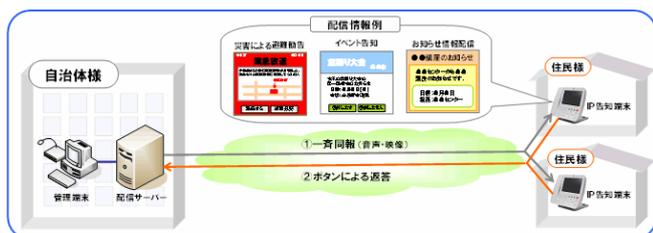
NTT 東西、7 インチタッチパネル対応 IP テレビ電話端末を発売

NTT 東日本株式会社(東京都新宿区)は、カスタマイズによる機能追加ができる、7インチタッチパネル対応IPテレビ電話端末「ひかりフレッツフォン VP3000」を2月16日から販売開始するとそれぞれのプレスリリースにて発表。同日、NTT 西日本株式会社(大阪府中央区)からも同製品のプレスリリースが発表されている。(2月15日)

ひかりフレッツフォン VP3000 は、「フレッツ 光ネクスト」の「ひかり電話」同士で利用の場合、最大2Mbpsまでの帯域に対応したテレビ電話通話ができるほか、NTT ドコモ株式会社

(東京都千代田区)のFOMAテレビ電話との通話もできる。映像コーデックは、MPEG4 Visual SPに対応している。

音声については、WB7(ワイドバンドセブン、G.711.1とG.722の7kHz)に対応。従来の電話通話(3.4kHz)の倍の帯域を使用するため、クリアで聞き取りやすい音声で会話ができるという。



カスタマイズによる利用例 (NTT 東西 資料)

機能については、映像留守番電話、自動応答、デジタルフォトフレーム、緊急地震速報受信機能、インターネットブラウザなどを搭載している。

映像留守番電話は、市販の外部メモリー(SDメモリーカード、USBメモリー)を使用して、留守中にかかってきたテレビ電話の映像と音声を記録することができる。

自動応答については、あらかじめ登録しておいた電話番号から電話がかかってきた場合に、着信操作を行わなくても自動的に通話状態になるため、外出先等でテレビ電話対応機器から自宅の様子を見ることができる。

デジタルフォトフレーム機能は、本体のメモリーもしくは、外部メモリー(SDメモリーカード、USBメモリー)内に保存されている画像ファイルを待ち受け表示画面にスライドショー形式で表示したり、スライドショー中に、本体あるいは外部メモリー内の音楽ファイルを再生したりすることができる機能。また画像については、インターネットを通してメールで受信して表示することもできる。なお、メール機能は受信のみ。

緊急地震速報受信機能は、緊急地震速報サービス(NTTコミュニケーションズ提供)を利用して、緊急地震速報を画面と音声でのお知らせを受信できる機能。

インターネットブラウザでは、NetFront Browser v3.5を使用。インターネット用のフルブラウザで、タッチパネ

ルによる操作で情報検索などが行える。

なお、以上各機能の使用にあたっては、サービス契約などの条件があるため事前に詳細を確認する必要がある。

その他、ひかりレッツフォン VP3000は、別売の「簡易緊急通報受信アダプタ」と「小電力型ワイヤレスリモートスイッチ5(送信機)」を使用すると、簡易な緊急通報装置としても利用することができる。小電力型ワイヤレスリモートスイッチ5の緊急通報ボタンを押すと、あらかじめ本商品に登録しておいた通報先に自動的に発信される。



簡易緊急通報装置利用例 (NTT 東西 資料)

本体には、7インチカラー液晶(WVGA)、CMOS 30万画素カメラ(明るさ調整3段階可能)、マイク(品質向上を行っているという)の他、LAN端子(1)、USB端子(1)、SDメモリーカードスロット(1)を搭載。通話はハンズフリーで行えるが、ハンドセットにも対応している。ネットワークプロトコルには、IPv4とIPv6、そして通信プロトコルには、SIPに対応している。

外形寸法:約234(W) x 164(D) x 206(H)mm。約1.3kg。販売価格は、37,905円(税別)。シニアや2台同時購入向けなどの特別価格もある。

別売りで、「コードレス子機」、「簡易緊急通報受信アダプタ」、「小電力型ワイヤレスリモートスイッチ5」を提供している。

販売については、それぞれの会社の営業エリアにて販売を行うが、目標数としては、NTT東日本は、約46,000台/年の販売、一方NTT西日本は、約18,900台/年の販売を目指す。

ひかりレッツフォン VP3000は、カスタマイズにも対応している。システムインテグレーターが、カスタマイズによって、自治体向けなどにIP告知端末や簡易緊急通報装置などの開発、あるいは、操作画面や独自のアプリケーションを追加することも可能だ。同社では、システムインテグレーターへの

技術情報の開示も行う。

なお、ひかりフレッツフォン VP3000 は、「2010 年度グッドデザイン賞」を受賞している。同社によると、誰もが使いやすく利用しやすいを理念としてデザインした結果という。

アルカディン ジャパン、iPhone 用モバイルアプリケーション日本語版を発表

アルカディン ジャパン株式会社(東京都港区)は、ワンクリックで Web&電話会議に参加できる「iPhone 用モバイルアプリケーション日本語版」を発表した。(1 月 11 日)

今回発表した iPhone 用モバイルアプリケーションは、「iPhone」、「iPhone 3G」、「iPhone 3GS」、「iPhone 4」に対応したアルカディン会議システム用モバイルアプリケーションとして開発した。

ワンクリックでの会議への参加の他、会議の予約、会議参加者予定者へ招待状メールの送付、さらには、アドレスブックに保存された連絡先へコールし会議室に呼び込む、などがワンクリックで簡単に行えるようになっている。加えて、海外からのアクセス番号リストや操作メニューなども参照できるようになっている。アクセス番号リストについては、リストの更新があると自動的にダウンロードするようになっている。

このアプリケーションの特長は、あらかじめ登録した番号を呼び出してすぐに電話会議に参加できたり、あるいは、会議の予約も数ステップで完了したりすることができるなど、簡単操作を実現することで、会議を始めるまでの手間や時間を短縮することにあるという。

ビジネス動向-国内

ブイキューブ、中国本土のデータセンターにサーバー設置、中国ビジネス加速

株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)は、中国本土のデータセンターにサーバーを設置し、中国国内でのサービス提供基盤を強化した。(2 月 24 日)

従来、日本と中国間の通信は、香港を経由して中国本

土と接続していたが、中国内本土の拠点と香港データセンターとの間のネットワーク環境が安定しないことがあった。そこで、今回、中国本土にサーバーを設置し、そこからサービスを提供することにより、中国国内の企業や中国に進出している日系企業に、より快適で安定した環境で「V-CUBE」サービスを利用できるようにした。

ブイキューブではこれを機に、今年1月に発表したシネックス社との協業ビジネスを加速させ、本年度 500 社との新規契約を目指す考えだ。シネックス社は、中国国内に 53 のオフィスと 24,000 社の販売チャンネルを保有しているという。

アルカディン ジャパン、関西営業所開設

アルカディン ジャパン株式会社(東京都港区)は、大阪市中央区に関西営業所を開設したと発表。(2 月 17 日)

アルカディン ジャパンは、フランスのアルカディン社の日本法人。現在 25 カ国に展開しており、日本法人は、2005 年に設立された。日本国内では、現在 600 社以上の顧客に利用されているという。アクセスポイントは、東京、千葉、横浜、川崎、名古屋、大阪、神戸に現在、設置されている。今後、中部、中国、九州の各地方にも開設を予定しているが、その中で近日中には、福岡と広島にアクセスポイントが増設されるという。こういったサービスの全国拡大に対応するため、東京本社その他、この度、大阪に関西営業所をかまえることになった。

また、2011 年からは、デスクトップ上で HD ビデオ会議が可能な「ArkadinVideo(アルカディンビデオ)」サービスも提供開始した。

製品・サービス動向-海外

ライフサイズの LifeSize Video Center、モバイル端末向けのビデオストリーミングに対応

ロジテック社のビデオ会議部門であるライフサイズは、同社の「LifeSize Video Center(ライフサイズビデオセンター)」が、モバイル端末向けのビデオストリーミングに対応したと発表。(2 月 15 日)

今回の対応によって、LifeSize Video Center は、従来の PC に加え、iPad、iPhone、iPod などのモバイル端末に対しても、ライブあるいはオンデマンドの HD ビデオコンテンツのレコーディングや自動パブリッシュ（配信）を行えるようになった。

ロジテック社によると、モバイル対応によって、より柔軟なコミュニケーションの実現と、PC のみへの配信では限界であった映像配信の“リーチ”を広げることができる利点があるという。なぜなら、経営者からの事業報告、ビジネスプレゼンテーション、セールスミーティング、あるいは、社員研修、講義など用途は広いからだ。従って、導入にあたって、業界あるいは企業の大小は関係ないという。

今回のモバイル対応の特長は以下の通り。

(1) 新たなソフトウェアのインストールが不要で、iPad、iPhone、iPod に搭載されている標準ブラウザでビデオの再生が可能だ。

(2) 「Automatic Adaptive Streaming」: 配信にあたっては、4 つのビットレートで送信が可能。これにより配信先のモバイル端末の帯域の状況に対して、適切なビットレートを自動で選択しながら配信が可能となるため、端末毎に最適化された映像品質で送信できる。レコーディングは、「LifeSize 220 シリーズ」から行う。

(3) NAS を使うことで、配信映像の保存あるいはバックアップに、社内にある既存のストレージを利用することが可能。これにより、保存あるいはバックアップ用に追加のコストをかけずに行える。

(4) サードパーティのシステムへのインテグレーションには、LifeSize Video Center の API を利用できる。社内イントラネットや LMS(ラーニングマネジメントシステム)との連携などカスタマイズが可能だ。

Vidyo 社、映像録画とストリーム配信が行える アプライアンスサーバーを発表

Vidyo 社は、映像録画とストリーム配信が行えるアプライアンスサーバー「VidyoReplay(ヴィディオリプレイ)」を発表。

(2月28日)

VidyoReplay は、Vidyo のシステムによる、ビデオ会議や遠隔授業、研修、あるいは、製品発表、カスタマーサポートなどの録画と配信が行えるフラッシュファイル形式(FLV フォーマット)に対応したシステム。

録画や配信は、「VidyoRoom」システムの他、Vidyo のアプリケーションをインストールしたパソコンやノートPCから操作でき、300 の同時配信視聴、2000 時間もの HD 映像の保存も可能だ。また、外部のストレージと連携できる NAS にも対応している。

特長としては、コンテンツの検索やアノテーションが行えるコンテンツマネジメントアプリケーションを搭載しているほか、再生は、リアルタイムもしくは、オンデマンドに対応し、フラッシュのプラグインを設定しているブラウザであれば再生できる。また、映像コンテンツ再生時には、一時停止、巻き戻しなども行えるようになっている。加えて、ひとつひとつの録画ファイルには、ハイパーリンクの設定が割り当てられ、メールソフトを使った録画ファイルの共有も行えるようになっている。

一方、セキュリティの面では、VidyoReplay システムへのアクセスコントロール(PINを使った、録画・再生・コンテンツへのアクセスの権限)、あるいは、コンテンツ配信には、暗号が施されている。

ビジネス動向-海外

Compunetix 社、BroadSoft 社製品との相互接続試験の完了を発表

Compunetix 社は、同社の音声会議多地点接続装置「CONTEX Summit(コンテックス サミット)」と米 BroadSoft 社の VoIP アプリケーションサーバ「BroadWorks(ブロードワークス)」との相互接続試験(interoperability testing)を完了した。

(2月14日)

CONTEX Summit と BroadSoft Services とのプラグ&プレイの相互接続を実現することで、両システムをインテグレートすることに関心のあるテレコム系のサービスプロバイダーのニーズに対応する。

Compunetix 社は、パートナー企業の製品とのシームレスなインテグレーションを保証する目的で厳格な相互接続試験を実施している。その結果、同社製品は、IMS を含めたさまざまな VoIP インフラ環境に対応した、拡張性や音声品質、そして信頼性を提供しており、これが市場での差別化につながっている。なお、同社は、世界 28 カ国に約 100 万ポート分に相当する MCU 台数を出荷しているという。

ポリコム、TIP プロトコルのサポートを発表

米ポリコム社(カリフォルニア州プレザントン)は、同社の「Polycom UC Intelligent Core(ポリコム UC インテリジェントコア)」ソリューションが、TIP プロトコル(Telepresence Interoperability Protocol)に対応したと発表。(2月21日)

この TIP プロトコルに対応することで、ポリコム製のテレプレゼンスシステムは、シスコシステムズ製などの他社製ソリューションとの相互運用が可能になる。ポリコム社によると、他社製のテレプレゼンスシステムを利用するユーザが、独自のテレプレゼンスプラットフォームに縛られているため、ポリコムの UC 環境に入ることができないという相談を何年も前から受けていたという。

このポリコム製と他社製の併用によるメリットは、ユーザは、コラボレーションや拡張の選択肢を今まで以上に広げられる点にある。加えて、既存のシステムを有効に活用できるため、投資保護にも役立ち、運用コストなど TCO(総所有コスト)の削減にもつながる。

一方、今回の TIP サポートは、ポリコム社にとっても意義がある。UC 市場のさらなる拡大やユーザへの付加価値への提供につながるとともに、同社が標榜する「UC Everywhere」構想への継続的なコミットメントをあらわすことにもなるからだ。

UC Everywhere というのは、プラットフォームやネットワークに関係なく、消費者、モバイル環境、SMB(中小企業)、大企業をすべて網羅したシームレスな UC 環境の提供を目指す同社の戦略。国際標準規格に準拠したオープンな相互運用性は、この戦略において要になる。現在、この戦略を

具現化した取り組みのひとつとして、サービスプロバイダーと連携した同社が進めるクラウドベースの UC ビデオ会議サービスがある。

また、この相互運用性は、ポリコムが推進している戦略的アライアンス「Polycom Open Collaboration Network(POCN)」によって提供される戦略的ポートフォリオの基礎にもなっている。このアライアンス企業には、マイクロソフト、IBM、HP、アバア、Juniper、BroadSoft、McAfee、シーメンスなどがある。

ポリコム社では、2011 年第 2 四半期中に、TIP との相互運用性サポートを開始する予定となっている。

RADVISION 社、インドでの販売チャネル拡大、Virtual Netcomm 社がインド国内で RADVISION 社 SCOPIA の取扱を開始

イスラエルの RADVISION 社は、Virtual Netcomm 社が、RADVISION 社の「SCOPIA(スコーピア)」ビデオ会議システムをインド国内での取扱い(ディストリビューション)を開始すると発表。(2月14日)

Virtual Netcomm 社は、Virtual Group のグループ企業で、ITセキュリティ、WAN最適化、あるいはネットワーク関連のソリューションを、システムインテグレーターやソリューションプロバイダーに提供している。本社は、インド アフマダーバード(Ahmadabad)。セールスとサポートの拠点については、バンガロール、チェンナイ、デリー、ハイデラバード、ムンバイにある。

Virtual Netcomm 社は、RADVISION 製品によって、同社のチャネルパートナーが新たなビジネスの機会を広げられると期待する。ビデオ会議は今後間違いなく“次の大きな変化の波(the next big wave of change)”であると期待しており、それに対応できる製品ラインナップを RADVISION 社が提供していると評価している。

Magor 社、新たに 6 社のチャネルパートナーと提携

カナダのテレプレゼンスシステムメーカー Magor

Communications (メイゴア コミュニケーションズ) 社は、新たに 6 社のチャンネルパートナーを発表した。(2 月 22 日)

Ducom 社:カナダの AV システムインテグレーター。30 年の経験がある。カナダ国内 6 ヶ所に拠点。

ET Group 社:カナダの AV インテグレーター。システムの設置やサポートはグローバルに対応。ビデオ会議やマネージドサービスにおいて、設計から設置、さらには、インテグレーション、サポートまで幅広く対応する。

Layer10 Solutions 社カルガリーにベースを置く IT システムインテグレーター。EION 社関連企業。カナダやラテンアメリカで展開。

OPE 社:中国の IT サービスプロバイダー。北京、上海、深圳、香港、マカオにセールスとテクニカルサポートの拠点がある。また中国国内のシステムインテグレーターやディストリビューターとのパートナーシップ展開を行っている。

Seal Telecom 社:ブラジル。ビデオ会議、音声会議、IP テレフォニー、IP モニタリング、WIMAX など IP コミュニケーションに特化したディストリビューション、あるいは、設計や施工を行っている。

Magor 社のシステムは、ピアツーピアベースの HD ビデオ会議システムで、Windows、Mac、Linux、UNIX、Solaris の各 OS のデスクトップ共有が行える。加えてネットワークの状況に応じた圧縮映像処理技術にも特長がある。

導入・利用動向

山陰合同銀行、双方向遠隔会議システムを導入

株式会社山陰合同銀行(島根県出雲市)は、双方向遠隔会議システムを導入したと発表。(2 月 10 日)

今回のシステムは、山陰合同銀行の 7 都道府県 145 店舗を網羅する広域営業店ネットワーク。役員や職員間で行う会議や教育研修での円滑なコミュニケーション、営業店へのタイムリーな情報伝達、さらには、交通機関・車両等による移動、加えて、それにとまらぬ移動時間の削減を目的に、1 月 11 日より運用開始した。社内会議などの効率的な運営による生産性の向上や効率化を行い、顧客サービス向上

に資する。

今回導入したシステムは、株式会社プロビズモ(島根県出雲市)による支援のもと、ジャパンメディアシステム株式会社の「LiveOn(ライブオン)」をベースに、山陰合同銀行向けにカスタマイズを行ったものを導入した。

株式会社山陰合同銀行

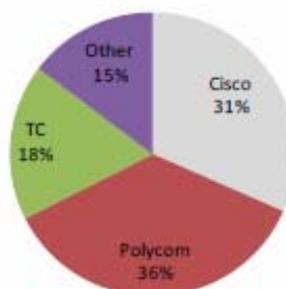
<http://www.gogin.co.jp/>

市場動向

Wainhouse Research 社、2010 年第 4 四半期ビデオ会議端末市場データ発表

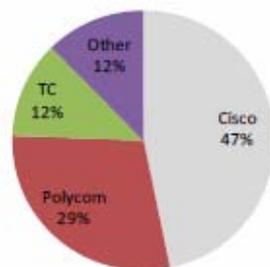
米調査会社 Wainhouse Research 社は、同社が発行する

Endpoint Units-Q4



とも好調な四半期(a banner quarter)だったという。テレプレゼンスシステム(マルチユー

Endpoint Revenues-Q4



無料のニュースレター「The Wainhouse Research Bulletin (Vol. 12 #04 February 28, 2011)」にて、2010 年第 4 四半期ビデオ会議端末市場(グローバル)におけるメーカーシェアを発表した。

それによると、まず、第4四半期の市場は、他の四半期に比べ売上げまた出荷台数

増となった。一方、前年と比較しても、出荷台数ベースで 14%、また売上ベースで 22%増となった。同社では、これらのグラフ

の他、製品別、地域別、あるいは、インフラ製品などを含めた市場動向レポート「VCP subscription service」を提供している。詳細は、同社確認。



Wainhouse Research, LLC <http://www.wainhouse.com>

セミナー・展示会情報

< 国内 >

会議の効率化を実現！『ConforMeeting 無料体験セミナー』 定期開催

日時:2011年3月16日(水)、23日(水)、30日(水)

*全ての日程で13:30~14:30、15:30~16:30の2回開催

会場:NEC情報システムズ 本社(東京都港区)

主催:日本電気株式会社、株式会社NEC情報システムズ

詳細・申込:

<http://www.nec-nis.co.jp/topics/event/conformeeeting/seminar.html>

導入事例から学ぶ

成功するWeb会議の選定術と運用術をご紹介セミナー

日時:3月17日(木)15:00-17:00

会場:キャノンソフト情報システム 大阪本社

(大阪市中央区)

主催:キャノンソフト情報システム株式会社

詳細・申込:

<http://www.canon-js.co.jp/seminar/detail.cfm?no=1250>

導入事例から学ぶ

成功するWeb会議の選定術と運用術をご紹介セミナー

日時:3月24日(木)15:00-17:00

会場:キャノンソフト情報システム 東京支社

(東京都豊島区)

主催:キャノンソフト情報システム株式会社

詳細・申込:

<http://www.canon-js.co.jp/seminar/detail.cfm?no=1251>

劇的経費削減をもたらすWeb会議選びのポイント
姿を現した劇的経費削減とCO2排出削減を実現する遠隔会議サービス SaasBoard3.0

日時:2011年3月24日(金)13:30~17:00

会場:渋谷区商工会館

主催:ニューロネット株式会社、ライド株式会社

詳細・申込:<http://www.neuronet.co.jp/eventSeminar.html>

< 海外 >

TeleSpan's Sixth Annual Future of Conferencing
Workshop (有料、7-リバー ド 割引 2月1日まで)

日時:2011年3月17日-18日

会場:Palace Station(米国ラスベガス)

主催:TeleSpan Publishing Corporation

詳細・申込:<http://www.telespan.com/workshop/index.html>

被災者向け無償提供

今回の災害に際して、被災者向けに、会議システムサービスもしくはライセンス無償提供を行っている会議システムメーカーやサービス提供事業者があります。3月15日現在、私が把握出来ている範囲ですが、詳細は各社にお問い合わせください。

- アルカディン ジャパン株式会社 <http://www.arkadin.co.jp/>
- 株式会社インスティクト <http://www.biznuri.jp/>
- エイネット株式会社 <http://www.freshvoice.net/>
- NTT アイティ株式会社 <http://www.meetingplaza.com>
- シスコシステムズ合同会社 <http://www.cisco.com/web/JP/index.html>
- ジャパンメディアシステム株式会社 <http://www.jm-s.co.jp/>
- 日本ヒューレット・パカード株式会社
<http://welcome.hp.com/country/jp/ja/cs/home.html>
- 日本IBM株式会社 <http://www.ibm.com/jp/ja/>
- ニューロネット株式会社 <http://www.neuronet.co.jp/>
- パイオニアソリューションズ株式会社
- ファンワード株式会社 <http://ez-vc.jp/>
- ビキューブ株式会社 <http://www.vcube.co.jp/>
- RADVISION Japan 株式会社 <http://www.radvision.jp/>

(あいうえお順)

編集後記

今回の大地震や津波などの影響を受けた方にはお見舞いを申し上げます。

テレビを通してですが、津波の被害を受けた地域は、全く信じられない状況です。今度は自分の住んでいる町にも起こるかもしれないと想像すると、とても人ごととは思えません。恐ろしいです。また、自然に対する人間の無力さも強く思い知らされる感じもあります。

未曾有の大地震、それに続く津波だけでなく原子力発電所の事故も発生しており、被災者の方々について、大変気の毒に思います。ひとりでも多くの方が救助され安全を確保されることを祈ります。

CNAレポート・ジャパン 代表 橋本 啓介